繊維補強コンクリート（材料）

座長:六郷恵哲(土木),松尾栄治(建築)
2024年6月26日(水) 10:00 〜 12:00 第2会場 (小展示室B)

[1170]床版接合部の施工における超高強度繊維補強コンクリートの圧送性および充填性に関する研究

川西貴士[1], 岩城孝之[1], 仲田宇史[1], 村上隆弘[1] (1.大林組)

キーワード：超高強度繊維補強コンクリート、圧送性、充填性、床版接合部、管内圧力損失、水平換算係数

超高強度繊維補強コンクリート（ UFC）の圧送において，配管条件や吐出量が管内圧力損失に及ぼす影響を実験的に検討した。また，高速道路の床版取替工事における床版接合部を模擬したアクリル製の型枠内に UFCを圧送して打ち込み，充填性を確認した。その結果，管内圧力損失は，輸送管の直径が小さいほど，また吐出量が増加するほど増大すること，上向き配管の水平換算係数は輸送管の直径が大きいほど増大すること， UFCの圧送により床版接合部を模擬した部材に密実に充填できることなどを確認した。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会